

特集 水道・下水道により衛生的で、

水道事業・下水道事業は、法令に基づき、衛生的で快適な生活環境のため、日々の生活の営みや経済活動に必要な水を提供し、生じる汚水を適切に処理しています。

水道事業・下水道事業の役割は以下のとおりです。

水道事業の役割

安全・安心な水を各家庭などへお届けします。

長良川の伏流水などの地下水をくみ上げ、塩素消毒を行い水道水として供給しています。安全でおいしい水を提供できるよう水源から各家庭までの水質を検査するとともに、水道管等の維持管理に努めています。

下水道事業の役割

家庭などから排出された汚水をきれいにして、川へ放流します。

下水道管を通して下水処理場に運ばれた汚水をきれいに処理して、川へ放流しています。身近な水路や川に直接汚水を流すことによる悪臭や害虫の発生を防止するなど、まちを清潔に保っています。

また、汚水処理の過程で発生する汚泥焼却灰から、肥料となる「りん」を回収するなど、資源の再利用も行っています。

水道・下水道は、健康と衛生を守るみんなの味方です

3つのポイント

ポイント①

感染症予防として始まった水道・下水道

水道 下水道

日本に初めて近代的な水道が出来たのは明治20年のことです。当時、日本では、外国との交易が盛んになるにつれ、コレラやチフスなどの水を媒介とした感染症が流行しました。そのため、衛生的な水を確保することが求められ、水道が普及しました。岐阜市では昭和5年に水道の給水を開始しました。

また、下水道は、明治時代に都市に人々が集まるようになり、汚水を原因とした感染症が流行し、その必要性が認識され、多くの都市で整備されるようになりました。岐阜市では昭和12年から下水処理を開始しています。

このように、感染症の予防をきっかけとして、衛生的な環境を実現するため、水道・下水道が整備されてきました。

水道水での手洗い・うがいで感染予防の徹底を！

ポイント②

水道水で手を洗いましょう。

水道

手洗いは新型コロナウイルス等の感染症対策の基本とされています。水道水は法令に従い適切に塩素消毒されていますので、衛生的な水道水で手洗い・うがいをして、感染症を予防しましょう。

ポイント③

もし、水道・下水道がなかったら・・・

水道 下水道

もし、きれいな水がなければ、手洗いや入浴、掃除等に水を使う衛生的な生活を送ることができなくなります。

また、汚水が適切に処理されなければ、まちや河川等が汚染されて、悪臭や害虫の発生の原因となったり、感染症等が広がったりする恐れがあります。

このように、衛生的で快適な生活を送るためになくてはならない水道・下水道を皆様に身近なものとして、当たり前のように使っていただくことが我々の使命です。

快適な生活環境を実現しています

厳格な管理の下、安全・安心を提供

水道原水の消毒 水道

岐阜市は水道原水の全てを地下水に求めており、自然の力でろ過された極めて良質な原水を、法令に従って塩素消毒を行い、皆様にお届けしています。また、消毒効果が保たれていることを確認するため、水道水の塩素濃度を市内26か所毎日測定しています。

汚水を浄化 下水道

下水道管を通じて市内から処理場に集められた汚水は、スクリーン、沈砂池を通して、石、砂や大きなゴミを取り除いた後、最初沈殿池で比較的大きな汚水を沈ませます。残った汚水は次の生物反応槽で微生物に食べさせることで取り除きます。その後、微生物を最終沈殿池で沈ませ、上澄みの水を塩素消毒し、安全できれいな水にしてから河川へ放流しています。

施設の運転管理 水道 下水道

取水、塩素消毒等を行う水源等施設の、上下水道事業部本庁舎で24時間遠隔監視しており、異常を検知した場合は速やかに対応します。また、下水処理場も毎日休むことなく稼働し続けており、その運転管理を24時間体制で行っています。

水質の徹底管理 水道 下水道

水源から供給される水道水、下水処理場から河川への放流水は、それぞれ法令に定められた基準を満たしているか、専門職員が水質検査を行っています。

例えば、水道であれば定期的に水源や水源から離れた給水区域の末端の水質を検査するなど、きめ細やかな検査(右図「水道の水質検査項目(令和2年度)」など)を行っています。



汚れを食べてくれる微生物。顕微鏡検査で状態をチェックしています。



水道施設の監視室。市内全ての水源を監視しています。



水源から蛇口までの間で水質に異常が生じていないか、定期的に検査を行っています。

水道の水質検査項目(令和2年度)	
健康に関する	検査結果
31項目 大腸菌やヒ素、水銀など、人体への影響を考慮して定められた項目	合格
性状に関する	検査結果
20項目 色や濁り、鉄など、生活に使う水として考えた性状に関して定められた項目	合格
法令で定められた 51項目 全て異常なし！	

水質を徹底管理しています。



安定的・継続的なサービスのために

衛生的で快適な生活環境を実現し続けていくため、健全な事業運営のもと、水道・下水道施設の強靱化を着実に進めていきます。

日々の点検・修繕 水道 下水道

水道管については、漏水や管の破損などにより、断水や道路陥没等が発生しないよう、漏水調査を実施し、水道施設については、機器の運転が停止しないよう点検・修繕を実施しています。

下水道管・施設についても同様に、管の破損や詰まりなどにより流下機能を低下させないよう、維持管理を行うとともに、処理場の機能低下・運転停止を防ぐため、点検・修繕を実施しています。

水道管・下水道管の更新 水道 下水道

岐阜市の水道管・下水道管は昭和40年代後半から平成10年代までに整備されたものが多く、今後、法定耐用年数(水道管は40年・下水道管は50年)を経過するものが増えていきます。

法定耐用年数を経過しても、すぐに壊れたり、使えなくなったりするわけではなく、法定耐用年数で更新を行うと、毎年の更新費用が増減し、多額の更新費用が必要な場合があり、安定経営の支障になります。

このため、計画的に優先度の高い管から更新していくとともに、長寿命化対策を併用し、更新費用を平準化していきます。

施設の老朽化対策・耐震化・耐水化 水道 下水道

巨大地震の発生や、異常な局地的大雨等の大規模自然災害の脅威が高まる中、これらの災害時にも、水道・下水道に求められる最低限の機能を維持するため、施設の老朽化対策、耐震化及び耐水化を進めています。



老朽化した水道管

未来のために始めています。

